



徳島市 脱炭素先行地域づくり通信

VOL. 1

2026.6

徳島市は、令和5年12月に「ゼロカーボンシティ」を宣言し、2050年までに市域の温室効果ガスの排出量の実質ゼロを目指しており、令和8年2月には国から脱炭素先行地域に選定され、地域における脱炭素と課題解決の同時実現に向けた取組を進めています。

本紙では、脱炭素先行地域づくりにおける取組の進捗状況などについてお知らせいたします。

Topic01 脱炭素先行地域とは

脱炭素先行地域とは、国が、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、2030年度までに脱炭素（民生部門（家庭部門及び業務その他部門）の電力消費に伴うCO₂排出の実質ゼロ）と地域の課題解決を同時に実現するために選定した地域で、これまでに全国で102か所が選定されています。

徳島市は、民間事業者等10者と共同で第7回脱炭素先行地域募集に応募し、令和8年2月13日に選定されました。

なお、国は「2025年度までに全国100地域を選定」する目標を達成したため、現在は新規募集を終了しております。

Topic02 本市の計画概要

(1) テーマ

バイオマス発電×次世代型農業で地域資源活用型の脱炭素モデルを構築

(2) 対象エリア

農業振興エリア（入田地区）、徳島駅周辺エリア

(3) 計画期間

令和8年度～令和12年度

(4) 主な取組

脱炭素先行地域における主な取組は次のとおりです。

○ バイオマス発電所の新設

農業振興エリアに未利用間伐材やしいたけ廃菌床等の未利用資源を燃料として活用する木質バイオマス発電所(約6,250kW)を整備し、資源循環を図りつつ、再生可能エネルギー電力を創出します。

○ トリジェネレーションモデルの構築

バイオマス発電所から生み出した電力・熱・CO₂を併設する次世代型園芸施設に供給する「トリジェネレーションモデル」を構築し、エネルギーコストの削減や作物の収量の向上により収益性の高い農業を実現します。また、バイオマス発電所及び次世代型園芸施設の両施設を合わせて新規雇用59名を創出します。

○ 都心部の省エネルギー対策

徳島駅周辺エリアの阿波おどり会館等へ太陽光発電設備やLED設備を導入します。

○ 再生可能エネルギー電気の供給

徳島サステナブルエナジー株式会社に本市が出資することで官民連携型の地域エネルギー会社として再編した後、バイオマス発電所由来の電気を安価に販売し、エネルギーの地産地消と両エリアのカーボンニュートラルを実現します。

○ 脱炭素化への機運醸成

発電所の社会科見学や園芸施設での体験学習、園芸作物の販売や飲食店・ホテルでの提供等を通じて市民や観光客へ情報を発信し、地域農業の活性化や市内外の脱炭素化への機運醸成を図ります。

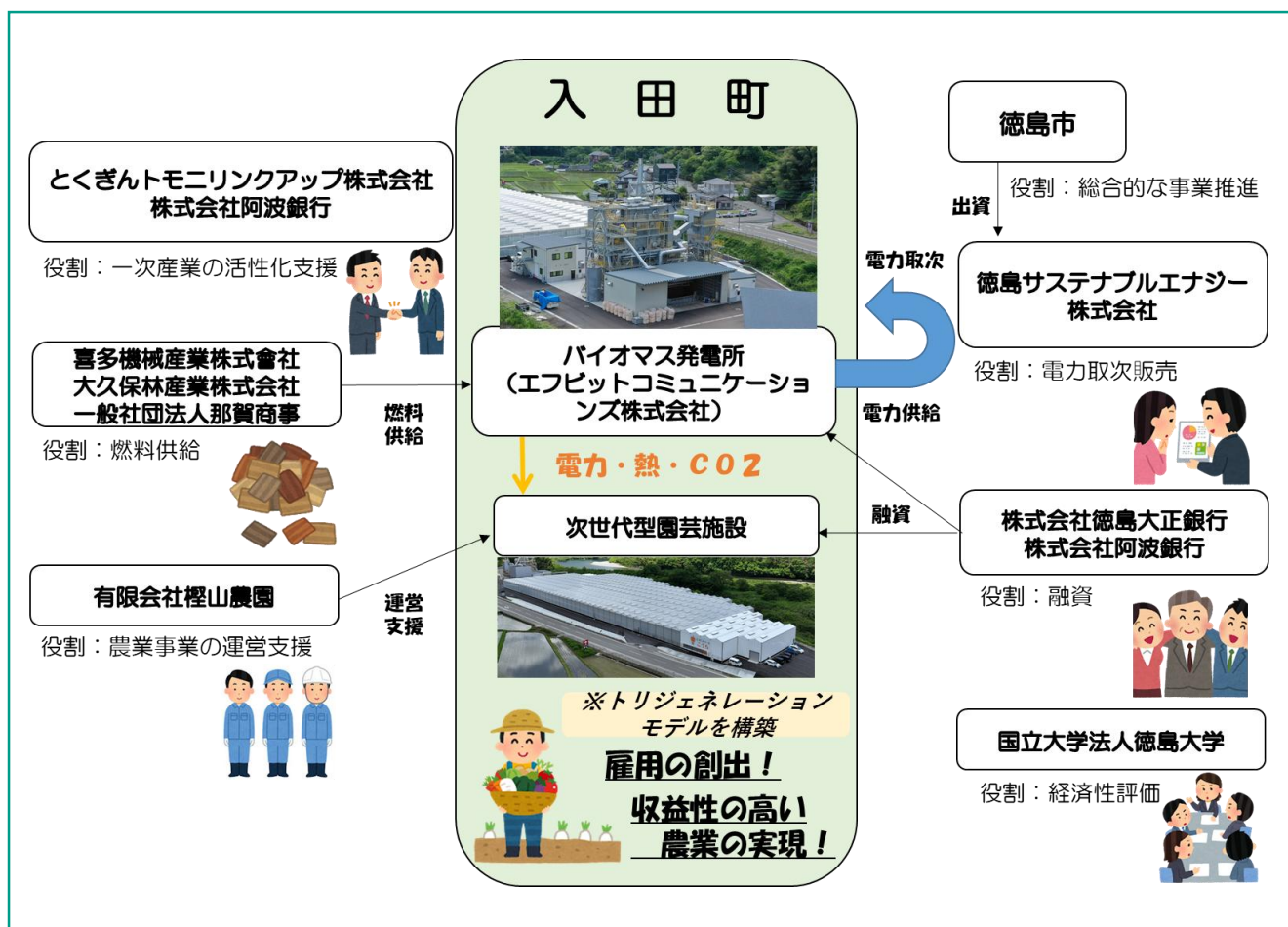
Topic03 住民説明会の開催

令和8年4月に住民説明会を開催し、脱炭素先行地域の全体像並びに農業振興エリアの取組などについて説明を行いました。今後も事業の進捗状況に応じて説明会を開催いたします。

(1) 開催概要

開催日時	参加人数	開催場所
令和8年4月14日(火) 19:00～	34名	入田コミュニティセンター
令和8年4月15日(水) 19:00～	40名	

(2) 農業振興エリアでの取組



コラム 高知県本山町の取組

高知県本山町では、エフビットコミュニケーションズ株式会社が、電気、熱、CO₂を活用するトリジェネレーションモデルを構築し、令和4年からバイオマス発電所(約1,990kW)と次世代型園芸施設(約1.3ha)を運営しています。

バイオマス発電所では、再生可能エネルギー電力を創出(年間約4,000世帯分、FIT制度により売電)するとともに、次世代型園芸施設では、スマート農業を実践し、年間220tのパプリカを生産しています。

発行

徳島市環境部環境保全課(徳島市幸町2丁目5番地 電話 088-621-5213)
エフビットコミュニケーションズ株式会社(京都市南区東九条室町23番地 電話 075-672-4111 担当:西村、増澤)